

施策シート【18_01】

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、総務部、保健所、環境部、土木部

施策名称		枚方市駅周辺の再整備			
総合計画体系	基本目標等	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち			
	施策目標等	18.人々が集い賑わい、魅力あふれる中心市街地のあるまち			
めざす姿（主観的満足度）		枚方市駅周辺が賑わい、魅力あふれる中心市街地である			
概要		利便性が高く、魅力あふれる中心市街地の形成に向けて、商業、文化芸術、居住施設をはじめ、緑化等による景観など、交通結節点におけるさまざまな機能を充実できるよう、枚方市駅周辺の再整備を進める。			
計画期間 中の 実施予定 時期	R6年度				
	R7年度				
	R8年度				
	R9年度				

施策シート【18_01】－ 具体的な取り組み

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、総務部、保健所、環境部、土木部

施策名称	枚方市駅周辺の再整備
------	------------

1. 枚方市駅周辺地区第一種市街地再開発事業の推進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
他の街区に先駆け、「枚方市駅周辺再整備ビジョン」にさだめるまちなか交流拠点及び広域駅前拠点の形成を図るため、行政サービス再編や駅前広場、区画道路等の公共施設及び多様な都市機能と都市居住が集積する建築物の一体的な整備など、事業の実現に向けた技術的・財源的支援を実施。	・③街区の建築工事完了 ・市駅前行政サービス再編事業の完了（新たな市民窓口や市駅前図書館等の開設）	・北口駅前広場改良完了 ・本工事を以て、まちなか交流拠点・広域駅前拠点（北口駅前広場等）の形成が完了	—	—	市駅周辺まち活性化部

2. 枚方市駅周辺再整備ビジョンの推進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
「枚方市駅周辺再整備ビジョン」に基づき、本市の中心市街地として魅力あふれる賑わいのあるまちの実現に向けた連鎖型まちづくりの具体化を図るため、各街区における取り組みを推進。併せて、まちの魅力や価値の向上を持続的に育むためにエリアマネジメントを促進。	・④⑤街区の土地区画整理事業の推進 ・みどりの大空間等の整備方針の検討及びまちづくりの推進 ・新庁舎整備基本計画策定に向けた庁舎機能等の検討 ・②街区地権者勉強会など	・④⑤街区の土地区画整理事業の推進 ・みどりの大空間等の整備方針の検討及びまちづくりの推進 ・新庁舎整備基本計画の策定 ・②街区地権者勉強会など	・④⑤街区の土地区画整理事業の推進 ・みどりの大空間等の整備方針の検討及びまちづくりの推進 ・新庁舎整備に伴う事業者募集 ・②街区地権者勉強会など	継続	市駅周辺まち活性化部

3. 外周道路などの整備

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
枚方市駅周辺再整備ビジョンにもとづき外周道路などの整備を実施。	財政状況等を勘案し、他事業との調整・連携を図りながら計画的に整備工事を推進	継続	継続	継続	道路河川整備課

施策シート【18_01】ー 具体的な取り組み

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、総務部、保健所、環境部、土木部

施策名称	枚方市駅周辺の再整備
------	------------

4. 行政サービス充実のためのオフィス環境整備

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
新庁舎でめざす体制や行政サービスを実現可能とするオフィス環境の整備を実施。	・執務スペース、書庫、倉庫などの整理 ・新庁舎における新たなワークスタイルについての調査研究 ・フリーアドレス（ユニバーサルレイアウト）、クラウドPBXなどの検証・順次導入 ・新庁舎における総合管理委託に向けた業務の洗い出し等の調査・検討 ・公用車の整理	継続	継続	継続	総務管理課

5. 新庁舎整備の検討

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
庁内のワーキングチームにより、先進事例研究や市民の意見等も踏まえて、新庁舎基本計画を策定し、計画に基づき整備する。基本計画では、付帯施設の内容についても整理を行う。なお、庁舎に関する検討内容や将来像については、SNS等を活用し、広く市民に対して発信していく。	新庁舎整備基本計画策定に向けて、庁舎機能などについて、市民意見聴取や他市視察などを実施	新庁舎整備基本計画の策定	新庁舎整備に伴う事業者募集	新庁舎整備に伴う設計など	市駅周辺まち活性化部

施策シート【18_01】－ 具体的な取り組み

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、総務部、保健所、環境部、土木部

施策名称	枚方市駅周辺の再整備
------	------------

6. 公民連携した市駅周辺の空間づくり

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
市民や有識者などからの意見聴取やURとの意見交換を行いながら、民間提案を募るなど、公民連携した空間づくりに向けて取り組む。	・P-PFIなど、公民連携手法の検討 ・URと連携し、民間事業者からの提案 ・みどりの大空間等の整備方針の検討及びまちづくりの推進	継続	継続	継続	市駅周辺まち活性化部

施策シート【18_01】－ 施策指標

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、総務部、保健所、環境部、土木部

施策名称	枚方市駅周辺の再整備
------	------------

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
新庁舎でめざす体制や行政サービスを実現可能とするオフィス環境の整備	組織変更や人員の増減にフレキシブルに対応しやすいユニバーサルレイアウトを採用したのべ職員数	100	250	390	420	人	総務管理課	4. 行政サービス充実のためのオフィス環境整備

施策シート【18_02】

市駅周辺まち活性化部、観光にぎわい部、子ども未来部

施策名称		枚方市駅周辺の賑わいづくりの創出						
総合計画体系	基本目標等	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち						
	施策目標等	18.人々が集い賑わい、魅力あふれる中心市街地のあるまち						
めざす姿（主観的満足度）		枚方市駅周辺が賑わい、魅力あふれる中心市街地である						
概要		枚方市駅周辺が、人々が集い交流し、さまざまな活動が活発に展開される拠点となるよう、賑わいづくりを創出する。						
計画期間 中の 実施予定 時期	R6年度	R7年度		R8年度		R9年度		
	1. 親子で楽しめる屋内の遊び場の設置やみどりの大空間の整備		2. バンケット付きホテルの創業支援					
	2. バンケット付きホテルの創業支援		○補助受付開始					
	3. にぎわい空間の創出		3. にぎわい空間の創出					
			○新たなにぎわい空間創出事業の具体化					

施策シート【18_02】－ 具体的な取り組み

市駅周辺まち活性化部、観光にぎわい部、子ども未来部

施策名称	枚方市駅周辺の賑わいづくりの創出
------	------------------

1. 親子で楽しめる屋内の遊び場の設置やみどりの大空間の整備

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
(1)④街区の民間活力導入エリアや新庁舎の整備に向けて、親子で楽しめる屋内遊び場など、市民ニーズやURとの意見交換等を踏まえた募集要項の作成 (2)みどりの大空間の具体化に際し、市民や有識者などからの意見聴取などを行いながら実現に向けた取り組み。	市民ニーズ及びURとの意見交換等を踏まえた募集要項に記載する誘致施設や機能の検討・提案	継続	継続	—	市駅周辺まち活性化部、子ども青少年政策課

2. バンケット付きホテルの創業支援

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
新たな都市機能として長期的に安定した事業継続が可能となるよう、原則5年間、固定資産税および都市計画税等の相当額を支援。	固定資産税および都市計画税等の相当額を支援する補助制度の構築	補助受付開始	継続	継続	観光交流課

施策シート【18_02】－ 施策指標

市駅周辺まち活性化部、観光にぎわい部、子ども未来部

施策名称	枚方市駅周辺の賑わいづくりの創出
------	------------------

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
ホテルとの連携実績数	ホテル宿泊者の市内店舗利用者数	2,072	3,551	3,729	3,907	人	観光交流課	2. バンケット付きホテルの創業支援

施策シート【19_01】

観光にぎわい部

施策名称		歴史文化遺産の活用と情報発信の充実					
総合計画体系	基本目標等	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち					
	施策目標等	19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち					
めざす姿（主観的満足度）		市の観光資源が生かされ、人々の交流が盛んに行われている					
概要		歴史文化遺産の活用と情報発信の充実を図り、まちへの愛着を育む。					
計画期間 中の 実施予定 時期	R6年度	R7年度		R8年度		R9年度	
	1. 百済寺跡の築地堀再現や楠葉台場跡へのシンボル設置 ○百済寺跡の築地堀セレモニー、公園再整備工事をもって短期計画完了 2. 郷土史に対する理解の促進 3. 文化財の普及啓発と活用				1. 百済寺跡の築地堀再現や楠葉台場跡へのシンボル設置 ○楠葉台場跡「簡易整備」実施		

施策シート【19_01】－ 具体的な取り組み

観光にぎわい部

施策名称	歴史文化遺産の活用と情報発信の充実
------	-------------------

1. 百済寺跡の築地塀再現や楠葉台場跡へのシンボル設置

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
①百済寺跡の築地塀再現 ②楠葉台場跡の活用 などにより市内文化財の普及啓発	①築地塀完成セレモニー、公園再整備工事をもって短期計画の完了 ②国・大阪府との協議	①アプローチ及び展示場整備の検討、大阪府との協議 ②整備に向けた方向性の検討、検討体制の整備など	①②方向性に沿った取り組み推進	①②継続	文化財課

2. 郷土史に対する理解の促進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
市民の郷土史に対する理解を深め、市民文化の向上を図ることを目的に、枚方市史年報をはじめ市史に関する刊行物の編集、歴史資料の収集・整理・保存を実施。	・市史に関する刊行物の編集 ・歴史資料の収集・整理・保存 ・希望者へのレファレンス	継続	継続	継続	文化財課

施策シート【19_01】－ 具体的な取り組み

観光にぎわい部

施策名称	歴史文化遺産の活用と情報発信の充実
------	-------------------

3. 文化財の普及啓発と活用

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
(1) それぞれの施設などの説明板を多言語化することで、国内外に向けた、啓発普及及び観光資源としての活用を目指す。 ①旧田中家鋳物民俗資料館 ②枚方宿鍵屋資料館 ③特別史跡百済寺跡 (2) 無形民俗文化財の登録 市内の祭りやだんじり等の民俗文化財調査を進めることで、市内初の無形民俗文化財の登録を目指します。	(1) 説明板の多言語化や市ホームページによる特設サイトの作成、SNSなど、国内外を意識した啓発普及に取り組む ①旧田中家鋳物民俗資料館 市内工場や市内農家と連携したツーリズムを実施。 ②枚方宿鍵屋資料館 施設を活用したにぎわい創出事業の提案を含め、指定管理者を選定 ③特別史跡百済寺跡 A R 映像の活用や発掘調査の際に出土した遺物の展示を実施。 (2) 無形民俗文化財を登録	①、③は継続 ②は指定管理者による、にぎわい創出事業の拡充	継続	継続	文化財課

施策シート【19_01】－ 施策指標

観光にぎわい部

施策名称	歴史文化遺産の活用と情報発信の充実
------	-------------------

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
特別史跡百済寺跡と楠葉台場跡が内外に誇れる観光資源であると思う市民の割合	特別史跡百済寺跡と楠葉台場跡が内外に誇れる観光資源であると思う市民の割合	50	52	54	56	%	文化財課	1. 百済寺跡の築地塀再現や楠葉台場跡へのシンボル設置
レファレンス等利用件数	枚方の歴史や史料に関する質問・照会のほか資料の閲覧・複写及び貸出等の利用も含めたレファレンス等の件数	250	260	270	280	件	文化財課	2. 郷土史に対する理解の促進
文化財活用事業満足度	講習受講者アンケートで「満足」と回答したものの割合 【算出式：受講者アンケートにて「満足」と回答した人数／アンケート回答者数】	80	85	90	95	%	文化財課	3. 文化財の普及啓発と活用
旧田中家鋳物民俗資料館の年間来館者数	旧田中家鋳物民俗資料館の年間来館者数	6,300	6,350	6,400	6,450	人	文化財課	3. 文化財の普及啓発と活用
大型観光バスで特別史跡百済寺跡に見学に来た団体観光客数	大型観光バスで特別史跡百済寺跡に見学に来た団体観光客数	750	800	850	900	人	文化財課	3. 文化財の普及啓発と活用
枚方宿鍵屋資料館の年間来館者数	枚方宿鍵屋資料館の年間来館者数	8,800	8,900	9,000	9,100	人	文化財課	3. 文化財の普及啓発と活用

施策名称		観光施策の推進			
総合計画体系	基本目標等	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち			
	施策目標等	19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち			
めざす姿（主観的満足度）		市の観光資源が生かされ、人々の交流が盛んに行われている			
概要		観光資源の効果的な発信、地域内外の交流機会の創出を図る。			
計画期間 中の 実施予定 時期①	R6年度	R7年度		R8年度	R9年度
	1. 観光マーケティング 2. 新たな観光情報発信拠点の整備 ○新たな観光情報発信拠点（枚方市観光案内所Syuku56）のオープン 3. 枚方宿エリアの新たな観光スポットの創出 4. まちなみや町家の保全 5. 天野川左岸の景観や歩行空間の整備 6. 淀川舟運の充実（淀川舟運の定期運航） 7. 水辺アクティビティの展開 8. サイクルロードの中継ポート整備 9. 東部地域の活性化 10. 「癒しの郷氷室・津田～美Healthプロジェクト」の推進	1. 観光マーケティング ○民間事業者との連携による万博を契機とした観光コンテンツ実施 3. 枚方宿エリアの新たな観光スポットの創出 ○療育園跡地の拠点オープン 9. 東部地域の活性化 ○複数の観光ツーリズムの実施 10. 「癒しの郷氷室・津田～美Healthプロジェクト」の推進 ○複数の観光ツーリズムの実施、特産品の創出支援・販路拡大、古民家活用事業開始			7. 水辺アクティビティの展開 ○水辺アクティビティの拠点オープン 8. サイクルロードの中継ポート整備 ○中継ポートオープン

施策名称		観光施策の推進			
総合計画体系	基本目標等	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち			
	施策目標等	19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち			
めざす姿（主観的満足度）		市の観光資源が生かされ、人々の交流が盛んに行われている			
概要		観光資源の効果的な発信、地域内外の交流機会の創出を図る。			
計画期間 中の 実施予定 時期②	R6年度	R7年度		R8年度	R9年度
	1 1. 農業体験や古民家を活用した観光ビジネスの支援 1 2. 地域資源を活かした観光コンテンツの創出及びツーリズム化 1 3. 市内大学生や留学生とともに体験型コンテンツの創出とプロモーションを推進 1 4. ひらかた万博共創プラットフォームによる共創の促進 1 5. 地域資源を活かしたパビリオン事業の実施 1 6. 「空飛ぶクルマ」の発着場整備 1 7. 大阪・関西万博への子どもたちの複数回無料招待 1 8. 大阪・関西万博における自治体参加催事出展 1 9. 枚方フェスティバル協議会の支援 2 0. にぎわい空間の創出	1 1. 農業体験や古民家を活用した観光ビジネスの支援 ○ 古民家活用事業開始 1 4. ひらかた万博共創プラットフォームによる共創の促進 ○ 共創による、特産品や新たなビジネスの創出 1 7. 大阪・関西万博への子どもたちの複数回無料招待 ○ 子ども夢基金を活用した大阪・関西万博への無料招待を実施 1 8. 大阪・関西万博における自治体参加催事出展 2 0. にぎわい空間の創出 ○ 新たなにぎわい空間創出事業の具体化			

施策シート【19_02】ー 具体的な取り組み

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、観光にぎわい部

施策名称	観光施策の推進
------	---------

1. 観光マーケティング

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
観光マーケティングの観点から、本市の魅力向上及び様々な情報発信を実施（観光情報の継続的な発信・案内、観光コンテンツの開発、観光データ調査分析）	・観光データ分析に基づくターゲット設定 ・民間事業者との連携による万博を見据えた観光コンテンツの開発 ・万博を契機とした各種プロモーション事業との連携	・民間事業者との連携による万博を契機とした観光コンテンツ実施 ・プロモーション事業との連携	万博を契機に開発された観光コンテンツのさらなる展開	万博後の取り組みの効果検証と観光コンテンツのさらなる展開	観光交流課

2. 新たな観光情報発信拠点の整備

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
令和6年前期にオープンする新たな観光情報発信拠点	・枚方市観光案内所 Syuku56のオープン、運営（委託） ・デジタル技術を活用した観光情報の発信	継続	継続	継続	観光交流課

3. 枚方宿エリアに新たな観光スポットを創出

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
幼児療育園跡地を活用し枚方宿地域の賑わい創出の拠点となるよう整備を推進する。西見附付近において、観光客誘致に向けた環境づくりの検討を行う。	・解体 ・検討（観光バス発着所の検討、枚方宿地区の案内板の設置、御宿場印帳、鍵屋活用の検討）	・療育園跡地の建築・オープン ・西見附付近の環境の充実	継続	継続	観光交流課

施策シート【19_02】－ 具体的な取り組み

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、観光にぎわい部

施策名称	観光施策の推進
------	---------

4. まちなみや町家の保全

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
①町家バンクを運営するまち協への支援。 （周知方法の検討） ②住宅まちづくり課と連携し景観補助制度の支援。 ③古民家再生協会との連携協定における活動の推進。 ④療育園跡地の活用において、景観形成のシンボリックな建物を創出。	まちづくり協議会等との連携による取り組みの推進	継続	継続	継続	観光交流課

5. 天野川左岸の景観や歩行空間の整備

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
③街区のまちびらきにあわせた隣接区間の景観整備及び、左岸の高水敷の活用などについて河川管理者等と協議・調整など、ウォーカブルなまちづくりの実現に向けた取り組み	・③街区隣接区間の景観整備 ・ウォーカブルに資する水辺空間の活用に向けて河川管理者等との協議調整	ウォーカブルに資する水辺空間の活用に向けて河川管理者等との協議調整	継続	継続	市駅周辺まち活性化部

6. 淀川舟運の充実（淀川舟運の定期運航）

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
①淀川舟運整備推進協議会要望を経た舟運航路の確保。 ②淀川舟運活性化協議会での議論を踏まえた連携の推進	・船着き場への案内サイン ・国、府、民間事業者との連携による万博を契機としたコンテンツ開発や充実	・国、府、民間事業者との連携による万博を契機としたコンテンツ実施	取り組みの継続	取り組みの継続	観光交流課

施策シート【19_02】ー 具体的な取り組み

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、観光にぎわい部

施策名称	観光施策の推進
------	---------

7. 水辺アクティビティの展開

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
①ひらかた万博を意識し、国や府、沿川自治体、民間事業者との連携を更に深めアクティビティを充実。 ②かわまちづくり計画に沿った、堤防上の活用。まちへの周遊が促進される取り組みの展開。	・アクティビティコンテンツの充実 ・堤防上仮設整備・検証	堤防上仮設整備・検証	堤防上整備	水辺アクティビティの拠点運営	観光交流課

8. サイクルロードの中継ポート整備

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
①淀川河川敷堤防上及び②幼児療育園跡地を活用したにぎわい創出に取り組む中で、機能の一つとして、サイクリストを取り込む仕掛けとしてサイクルラックの設置等を行い、まちへの周遊が促進される取り組みを展開する。	①堤防上実証	①サイクルラック等の仮設設置 ②にぎわい創出施設の建築・オープン（サイクルラック等設置）	①堤防上整備 ②継続	①拠点運営 ②継続	観光交流課

9. 東部地域の活性化

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
①概ねJR学研都市線以東の地域に存在する豊かな自然や農地などの地域資源を活用し、一層の魅力向上や地域の活性化を図る。 ②「枚方市東部地域の活性化に向けて」（令和4年3月策定）に沿った東部地域活性化の取り組みを推進。	①ツーリズム化の実証実験 ②2025年大阪・関西万博を見据え、新たな特産品・観光コンテンツを創出するとともに、持続可能なビジネス創出による地域活性化に取り組む ・古民家活用事業に伴う支援に向けた環境整備	・新たな特産品・観光コンテンツを創出 ・複数の観光ツーリズムの実施 ・古民家活用事業開始	継続	継続	政策推進課、農業振興課、観光交流課

施策シート【19_02】ー 具体的な取り組み

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、観光にぎわい部

施策名称	観光施策の推進
------	---------

10. 「癒しの郷氷室・津田～美Healthプロジェクト」の推進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
・地域・民間・大学等と連携し、地域資源の農と里山を活かしたプログラムを充実させることで、東部地域を活性化。 ・ひらかた万博共創プラットフォームにおいて、地域資源を活用した新たな産品（ひらかた万博ブランド）や地域ビジネスモデルを創出。	・地域資源を活かした観光コンテンツや特産品の創出支援 ・ツーリズム化の実証実験	・複数の観光ツーリズムの実施 ・特産品の創出支援・販路拡大	継続	継続	政策推進課、農業振興課

11. 農業体験や古民家を活用した観光ビジネスの支援

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
古民家を活用した農泊や農業レストラン開設に向けた環境整備	農泊等の農業に関わる古民家活用事業に伴う支援に向けた環境整備	農泊等の農業に関わる古民家活用事業開始	継続	継続	農業振興課

12. 地域資源を活かした観光コンテンツの創出及びツーリズム化

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
ひらかた万博共創プラットフォームにおいて、地域資源を活用した新たな観光コンテンツや地域ビジネスモデルを創出。 また、インバウンド向けも含め観光客の増加を目指したツーリズムを構築。	・観光コンテンツの創出に向けた取り組み ・ツーリズム化の実証実験 ・効果的な広報PRの検証 ・外国人のニーズ調査 ・観光協会、DMO及び民間事業者との連携	観光ツーリズムの商品化及び効果的な情報発信	継続	継続	政策推進課、観光交流課

施策シート【19_02】－ 具体的な取り組み

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、観光にぎわい部

施策名称	観光施策の推進
------	---------

1 3. 市内大学生や留学生とともに体験型コンテンツの創出とプロモーションを推進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
留学生等と連携したコンテンツ開発、ツーリズム調査、観光協会によるコンテンツ磨きあげへの支援	・留学生等と連携した随時コンテンツの磨きあげ ・ツーリズムの実証 ・観光協会によるコンテンツ磨きあげへの取り組み支援	継続	継続	継続	観光交流課

1 4. ひらかた万博共創プラットフォームによる共創の促進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
ひらかた万博共創プラットフォームにおいて、地域資源を活用した新たな産品（ひらかた万博ブランド）や地域ビジネスモデルを創出。	・マッチング促進に向けた会議運営 ・実効性の高いプロジェクト化の検討（必要に応じ部会設置） ・ひらかた万博共創事業創出補助制度の運用 ・共創を支援するコミュニケーションツールの導入・運用	・共創による、特産品や新たなビジネスの創出 ・ひらかた万博共創事業創出補助制度の運用 ・共創を支援するコミュニケーションツールの運用 ・継続した取り組みの検討	—	—	政策推進課

1 5. 地域資源を活かしたパビリオン事業の実施

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
枚方市全体をパビリオンに見立て、市民、企業、事業者、市民団体、大学等、多様な主体と連携し、枚方の魅力向上につながる地域資源を活用した観光事業やイベント等を市内の様々な場所で実施。	・パビリオン事業の参加・参画促進 ・市内外への効果的なPR及び検証	継続	—	—	政策推進課

施策シート【19_02】ー 具体的な取り組み

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、観光にぎわい部

施策名称	観光施策の推進
------	---------

16. 「空飛ぶクルマ」の発着場整備

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
・空飛ぶクルマビジネス共創部会で市内での離発着に向けた調査・検証 ・空飛ぶクルマの社会受容性の向上	・市内離発着場所の整備を見据えた空飛ぶクルマの考え方の整理 ・空飛ぶクルマ体験型イベント実施	継続	・国の規制等の動向に注視し、市内での日常的な離発着に向けた可能性検証	継続	政策推進課

17. 大阪・関西万博への子どもたちの複数回無料招待

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
大阪府が実施する大阪・関西万博会場への無料招待に加え、申請日に枚方市に住所を有する満4～17歳（令和7年4月1日時点）の子どもを対象として、無料招待を実施することで、次代を担う子ども達が将来に向けて夢や希望を育む機会を支援。	子ども夢基金を活用した大阪・関西万博への無料招待の実施に向けた予約受付	・子ども夢基金を活用した大阪・関西万博への無料招待の実施に向けた予約受付 ・子ども夢基金を活用した大阪・関西万博への無料招待を実施	—	—	政策推進課

18. 大阪・関西万博における自治体参加催事出展

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
大阪・関西万博会場において、本市の歴史文化や地域資源などの魅力を発信し、本市に誘客することを目的に、府内自治体に参加する催事「大阪ウィーク」や万博首長連合会員自治体が共創する催事「Resolution of LOCAL JAPAN展」に出展。	・大阪ウィークの出展準備 ・Resolution of LOCAL JAPAN展の出展準備	・大阪ウィークの出展 ・Resolution of LOCAL JAPAN展の出展	—	—	政策推進課

施策シート【19_02】ー 具体的な取り組み

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、観光にぎわい部

施策名称	観光施策の推進
------	---------

19. 枚方フェスティバル協議会の支援

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
枚方まつりの実施及び各イベントを支援する枚方フェスティバル協議会に対し補助金を交付し、各イベントを支援。	・開催時期の検証 ・イベント内容の検証・充実	イベント内容の検証・充実	継続	継続	観光交流課

20. にぎわい空間の創出

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
ニッパーク等で開催されるイベント支援、河川空間におけるにぎわいづくり	・課題整理/検証 ・事業者が活用しやすい仕組みづくりへの検討	新たな仕組みによる事業の具体化	継続	継続	観光交流課

施策シート【19_02】－ 施策指標

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、観光にぎわい部

施策名称	観光施策の推進							
指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
観光消費推計額	観光消費単価×一週間あたり平均滞在者数	1,547,813	1,740,944	1,934,076	2,127,207	千円	観光交流課	1. 観光マーケティング
新たな観光情報発信拠点利用者数	デジタルサイネージ等を活用した令和6年前期にオープンする新たな枚方市観光案内所「Syuku56」の利用者数	30,000	40,000	41,000	42,000	人	観光交流課	2. 新たな観光情報発信拠点の整備
舟運イベント乗船客数	舟運事業者が運航する舟運イベント乗船客数	1,740	2,294	2,847	3,400	人	観光交流課	6. 淀川舟運の充実（淀川舟運の定期運航）
東部地域の古民家を活用した観光施設の数	東部地域の古民家を活用した民間宿泊施設等の観光施設の数（延べ）	1	2	3	4	箇所	政策推進課	9. 東部地域の活性化 1 1. 農業体験や古民家を活用した観光ビジネスの支援
創出観光コンテンツ数	創出した特産品、参加・体験などの観光コンテンツの数（延べ） ※うち()内は東部地域の数	5（2）	8（5）	11（8）	14（11）	個	政策推進課	9. 東部地域の活性化 1 2. 地域資源を活かした観光コンテンツの創出及びツーリズム化
本市への訪日外国人旅行者数	大阪府にきた訪日外国人旅行者のうち、本市を訪問した推計人数	35,000	45,000	56,000	68,000	人	政策推進課	9. 東部地域の活性化 1 2. 地域資源を活かした観光コンテンツの創出及びツーリズム化 1 4. ひらかた万博共創プラットフォームによる共創の促進 1 5. 地域資源を活かしたパビリオン事業の実施 1 8. 大阪・関西万博における自治体参加催事出展
民間活力を活用したプロジェクトの実施数（累計）	「癒しの郷氷室・津田～美healthプロジェクト」の実施数	5	6	7	8	件	農業振興課	1 0. 「癒しの郷氷室・津田～美Healthプロジェクト」の推進
共創により生まれた特産品の数	共創により新たに創出された特産品の延べ個数	3	5	7	9	個	政策推進課	1 4. ひらかた万博共創プラットフォームによる共創の促進
誘客につながる参加体験イベント数	ひらかた万博の取組において地域資源を活かして開催された参加・体験イベント等の数	55	60	—	—	事業	政策推進課	1 5. 地域資源を活かしたパビリオン事業の実施
空飛ぶクルマビジネス共創部会の事業数	空飛ぶクルマビジネス共創部会（効果検証、可能性検証、社会受容性向上グループ）で取り組む事業数（延べ）	3	4	5	6	件	政策推進課	1 6. 「空飛ぶクルマ」の発着場整備

施策シート【19_02】－ 施策指標

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、観光にぎわい部

施策名称	観光施策の推進
------	---------

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
枚方まつりの来場者数	枚方まつりの来場者数	103,000	106,000	109,000	112,000	人	観光交流課	19．枚方フェスティバル協議会の支援
にぎわい空間創出事業来場者数	ニッパーク岡東中央等において、市民団体などが開催する各種イベントが効果的に行われるように、会場及び備品の貸し出し、広報などの支援を行う「にぎわい空間創出事業」における来場者数	12,824	14,106	15,517	17,068	人	観光交流課	20．にぎわい空間の創出

施策シート【19_03】

総合政策部、観光にぎわい部

施策名称		若者の交流機会の創出					
総合計画体系	基本目標等	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち					
	施策目標等	19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち					
めざす姿（主観的満足度）		市の観光資源が生かされ、人々の交流が盛んに行われている					
概要		大学の知的資源をまちづくりに活かすため、大学施設を利用した学習・交流機会の充実や産学公の連携。					
計画期間 中の 実施予定 時期	R6年度	R7年度		R8年度		R9年度	
	1. 「学園都市ひらかた」の実現						
	2. ひらかた市民大学の開催						
	3. 子ども大学探検隊の実施						

施策シート【19_03】－ 具体的な取り組み

総合政策部、観光にぎわい部

施策名称	若者の交流機会の創出
------	------------

1. 「学園都市ひらかた」の実現

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
「学園都市ひらかた」の実現に向けて、枚方市と枚方市内の5大学で構成した協議会・幹事会・事業部会を開催し、調査・研究及び連絡調整を実施。	・協議会・幹事会を開催 ・調査・研究及び連絡調整を実施	継続	継続	継続	政策推進課

2. ひらかた市民大学の開催

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
学園都市ひらかた推進協議会事業の一環として、市と大学が連携し、市民向け講座を開催。専門的な知識・情報を提供する講座を各大学で実施。	大学と連携し、事業を実施	継続	継続	継続	文化生涯学習課

3. 子ども大学探検隊の実施

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
学園都市ひらかた推進協議会事業の一環として、市と大学が連携し、市内大学の施設・設備やクラブ活動等への参加体験を実施。	大学と連携し、事業を実施	継続	継続	継続	文化生涯学習課

施策シート【19_03】－ 施策指標

総合政策部、観光にぎわい部

施策名称	若者の交流機会の創出
------	------------

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
市と大学との連携事業に参加した学生数	イベントの開催など市と市内大学との連携事業に参加した学生数	1,800	1,900	2,000	2,100	人	政策推進課	1. 「学園都市ひらかた」の実現
ひらかた市民大学の参加者数	ひらかた市民大学に参加した人数	200	200	200	200	人	文化生涯学習課	2. ひらかた市民大学開催事業
子ども大学探検隊の参加者数	子ども大学探検隊に参加した人数	250	250	250	250	人	文化生涯学習課	3. 子ども大学探検隊の実施

施策シート【19_04】

観光にぎわい部

施策名称		国際化施策の推進			
総合計画体系	基本目標等	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち			
	施策目標等	19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち			
めざす姿（主観的満足度）		市の観光資源が生かされ、人々の交流が盛んに行われている			
概要		国際交流活動を推進し、多文化共創に向けた異文化への理解を図るとともに、市内の国際化に向けて取り組む。			
計画期間 中の 実施予定 時期	R6年度				
	1. 国際交流の推進				
	R7年度				
	1. 国際交流の推進 ○内容の具体化				
	R8年度				
	R9年度				

1. 国際交流の推進

1. 国際交流の推進
○内容の具体化

施策シート【19_04】－ 具体的な取り組み

観光にぎわい部

施策名称	国際化施策の推進
------	----------

1. 国際交流の推進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
海外友好都市との交流等、国際交流推進に係る事業を実施。	海外友好都市との交流等、国際交流推進に係る事業を実施及び拡充の検討をしていく	拡充	継続	継続	観光交流課

施策シート【19_04】－ 施策指標

観光にぎわい部

施策名称		国際化施策の推進						
指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
海外友好都市との交流をはじめとする国際交流事業の参加人数	交流事業の参加人数	1,034	1,153	1,264	1,264	人	観光交流課	1. 国際交流の推進

施策シート【20_01】

観光にぎわい部、健康福祉部、福祉事務所

施策名称		雇用対策の充実			
総合計画体系	基本目標等	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち			
	施策目標等	20.いきいきと働くことのできるまち			
めざす姿（主観的満足度）		市内での産業活動が活発に行われている			
概要		就労困難者に対する就労支援、新たな雇用機会の創出を図る。			
計画期間 中の 実施予定 時期	R6年度	R7年度		R8年度	R9年度
	1. 奨学金の返還支援 2. 地域の就労支援と雇用対策 3. 生活保護受給者の自立支援 4. 生活困窮者の自立支援		1. 奨学金の返還支援 ○若年層を対象とした奨学金補助の実施		

施策シート【20_01】－ 具体的な取り組み

観光にぎわい部、健康福祉部、福祉事務所

施策名称	雇用対策の充実
------	---------

1. 奨学金の返還支援

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
就職者の経済的な負担の軽減と安定した就労の支援、中小企業の人材確保に資することを目的に、奨学金返還を支援。	就職氷河期世代を対象とした奨学金補助の継続 ・若年層を対象とした奨学金補助制度の創設に向けた準備	・就職氷河期世代を対象とした奨学金補助の継続 ・若年層を対象とした奨学金補助制度の実施	継続	継続	商工振興課

2. 地域の就労支援と雇用対策

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
①様々な就労阻害要因による就労困難者へ就労を支援 ②地域産業の発展と安定的な雇用環境の確保に向けて、企業の求人開拓・就職機会を提供 ③製造業を主とした市内中小企業の人材確保と若年者の安定雇用を図り、地域経済を活性化。	・地域就労支援センターにおける相談事業等の就労への支援 ・合同企業就職面接会を通じ就労機会を提供	継続	継続	継続	商工振興課

3. 生活保護受給者の自立支援

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
主に稼働年齢層にある稼働能力を有する保護受給者及び保護申請者に対し、就職による早期自立が図れるよう、就労意欲を喚起し、求職活動の支援、就職後の定着支援等を実施。	・就労支援プログラムの参加者に対する求職活動の支援 （就労支援員によるカウンセリングや就労に向けた意欲喚起、履歴書・職務経歴書の作成、面接等のトレーニング、求人情報の提供やハローワークへの同行など） ・自立への援助として、就労開始後に定着支援のカウンセリングを実施	継続	継続	継続	生活福祉課

施策シート【20_01】－ 具体的な取り組み

観光にぎわい部、健康福祉部、福祉事務所

施策名称	雇用対策の充実
------	---------

4. 生活困窮者の自立支援

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
<生活困窮者自立支援事業> 生活困窮者に係る相談を受け、関係機関と連携し、継続的・寄り添い型の対応を通じて、自立に向けた包括的な支援を実施。	・自立相談支援センターにおいて、生活困窮者からの相談及び自立に向けた継続的・寄り添い型の支援を実施 ・生活困窮者が抱える課題の評価・分析を行い、自立に向けたプランを作成 ・ハローワーク枚方や枚方市社会福祉協議会等の関係機関と連携しながら、就労支援等の自立に向けた支援を実施	継続	継続	継続	健康福祉 総合相談 課、生活福祉課

施策シート【20_01】－ 施策指標

観光にぎわい部、健康福祉部、福祉事務所

施策名称	雇用対策の充実
------	---------

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
奨学金返還支援補助金の交付件数	就職氷河期世代及び若年層を対象とした奨学金の返還を支援する補助金の交付件数	3	8	9	10	件	商工振興課	1. 奨学金の返還支援
地域就労支援センター相談者等のうち就労に結びついた人数	地域就労支援センター相談者等のうち就労に結びついた人数	65	67	69	71	人	商工振興課	2. 地域の就労支援と雇用対策
就労決定した者のうち、就労定着3カ月以上した人数、及び就労自立し保護廃止となった人数	就労決定した者のうち、就労定着3カ月以上した人数、及び就労自立し保護廃止となった人数	60	65	70	75	人	生活福祉課	3. 生活保護受給者の自立支援
就労支援対象者（生活保護受給者・生活困窮者）のうち就労に結びついた人数	生活保護受給者及び生活困窮者のうち就労支援事業及び「就労支援ひらかた（ハローワークコーナー）」において実際に就労に結びついた人数	190	200	210	220	人	健康福祉総合相談課、生活福祉課	3. 生活保護受給者の自立支援 4. 生活困窮者の自立支援

施策シート【21_01】

観光にぎわい部

施策名称		市内産業の活性化	
総合計画体系	基本目標等	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち	
	施策目標等	21.地域産業が活発に展開されるまち	
めざす姿（主観的満足度）		市内での産業活動が活発に行われている	
概要		新たな事業展開に取り組める環境づくりや商店街の活性化等、市内産業の振興に取り組むとともに、企業誘致の促進を図る。	
計画期間 中の 実施予定 時期	R6年度		
	1. ふるさと納税を活用した商品開発支援 2. 地域一体型のオープンファクトリーの開催 3. 市外企業の誘致と市内企業の移転防止 4. 工場立地法に係る緑地規制基準の緩和 5. 地域産業基盤の強化 6. 中小企業の魅力発信支援 7. 中小企業の設備導入等支援 8. 商店街等の活性化促進		
	R7年度		
	R8年度	1. ふるさと納税を活用した商品開発支援 ○ふるさと納税3.0の創設 3. 市外企業の誘致と市内企業の移転防止 ○産業用地のデータベースの運用開始	
	R9年度		

施策シート【21_01】ー 具体的な取り組み

観光にぎわい部

施策名称	市内産業の活性化
------	----------

1. ふるさと納税を活用した商品開発支援

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
地域産業の活性化を図るため、「ふるさと納税3.0」を創設し、ものづくり企業の商品開発を支援する。	・産業振興対策審議会での審議 ・調査、研究	ふるさと納税3.0の創設に向けた準備	ふるさと納税3.0の創設	ふるさと納税3.0の運用	商工振興課

2. 地域一体型のオープンファクトリーの開催

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
まちの魅力発信や地域の活性化につなげるため、2025年の大阪・関西万博を見据え、ものづくり企業の魅力を伝える機会として、オープンファクトリーを開催。	・オープンファクトリー事業において、参加企業の増加や対象層を求職者向けにも拡大 ・外国語版の案内や動画配信等、ビジネスマッチングにつながるようPRを強化	継続	継続	継続	商工振興課

3. 市外企業の誘致と市内企業の移転防止

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
産業用地にかかる企業ニーズ、用地情報を共有する仕組みづくり。操業環境の整備に向けた支援策の検討。	【移転・誘致】 ・産業用地の情報発信及び体制整備に向けた調整 ・三者連携協定を活用した産業用地の情報共有やデータベース化の仕組みを検討 ・関係機関と協議しながら、課題整理を行う	産業用地のデータベース化	産業用地のデータベースの運用	継続	商工振興課

4. 工場立地法に係る緑地規制基準の緩和

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
ものづくり企業の操業環境を整備するため、工場立地法に係る、緑地規制基準を緩和。	市内工場の緑地に関する調査を実施	緑地規制基準の見直し・条例制定	・制度の周知 ・適正な協議及び効率的に事務を執行	継続	商工振興課

施策シート【21_01】－ 具体的な取り組み

観光にぎわい部

施策名称	市内産業の活性化
------	----------

5. 地域産業基盤の強化

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
企業等の経営基盤の強化及び新たな雇用の創出につなげるため、地域産業基盤強化奨励金を交付することにより、企業等の設備投資を促進。	引き続き市内事業者へ周知を図り、申請に対し適正に補助金を交付	継続	継続	継続	商工振興課

6. 中小企業の魅力発信支援

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
市内企業の優れた技術や製品を市内外に広く発信するべく、販路開拓やビジネスチャンスの拡大を目的に開催する展示商談会等に参加する市内中小企業者を支援。	支援を継続しつつ、社会情勢の変化に応じて、適宜支援対象や支援内容の見直しを検討	継続	継続	継続	商工振興課

7. 中小企業の設備導入等支援

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
騒音・振動・臭気を低減する設備の導入等を行う中小企業者を対象に、対象経費の2分の1を補助する。（上限5,000,000円） 令和5年4月に要綱改正を行い、予防的措置にも活用できるよう補助金の対象を拡充したことから関係団体等への周知を図り、交付件数の増加に努める。	関係団体等への周知	継続	継続	継続	商工振興課

8. 商店街等の活性化促進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
・市内の商店街の活性化に関する事業を主体的に企画し、実施する商業団体に対して補助金を交付することにより、商店街等の活性化を促進。 ・市内の各商店街、ひいては地域産業の活性化を目指すため、商店街等活性化促進事業補助金の補助対象を拡大。	・支援を継続しつつ、社会情勢の変化に応じて、適宜支援対象や支援内容の見直しを検討する。 ・商店街等活性化促進事業補助金の補助対象団体の拡充	継続	継続	継続	商工振興課

施策シート【21_01】ー 施策指標

観光にぎわい部

施策名称	市内産業の活性化
------	----------

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
ふるさと納税を活用したクラウドファンディングにより、市内事業者の商品開発を新たに支援した件数	ふるさと納税を活用したクラウドファンディングにより、市内事業者の商品開発を新たに支援した件数	0	0	3	3	件	商工振興課	1. ふるさと納税を活用した商品開発支援
オープンファクトリーの参加事業者数（累計）	ものづくり企業の魅力を伝える機会をはじめ、まちの魅力発信や地域の活性化につながるオープンファクトリーに参加する事業者数（累計）	15	18	21	24	者	商工振興課	2. 地域一体型のオープンファクトリーの開催
産業用地のデータベースへの登録件数	産業用地にかかる企業ニーズ・用地情報を共有するデータベースへ新たに登録した件数	0	1	2	3	件	商工振興課	3. 市外企業の誘致と市内企業の移転防止
地域産業基盤強化奨励金を受けて、新規立地及び設備投資した件数（累計）	地域産業基盤強化奨励金制度の認定を受けて、市内の産業集積地域において製造業事業者が新規立地や設備投資を行った件数（累計）	34	36	38	40	件	商工振興課	5. 地域産業基盤の強化
市内企業が市の支援を受けて各種展示会の出展に取り組んだ件数	市内企業が市の支援を受けて各種展示会に出展し販売拡大に取り組んだ件数	18	19	20	21	件	商工振興課	6. 中小企業の魅力発信支援
住工共生環境対策支援事業補助金の交付決定から３年間、操業を継続している市内の事業者の割合	操業を継続している市内の事業者の総数／住工共生環境対策支援事業補助金の交付決定を行った市内の事業者の総数	100	100	100	100	%	商工振興課	7. 中小企業の設備導入等支援
商店街が市の支援を受けて活性化に取り組んだ件数	商店街が市の支援制度を活用して活性化に取り組んだ件数	12	13	14	15	件	商工振興課	8. 商店街等の活性化促進
市内の各商店街、ひいては地域産業の活性化を目指す補助対象団体数（累計）	市内の各商店街、ひいては地域産業の活性化を目指す補助対象団体数（累計）	13	14	15	16	事業者	商工振興課	8. 商店街等の活性化促進

施策シート【21_02】

観光にぎわい部

施策名称		創業（起業）できる環境づくりの充実			
総合計画体系	基本目標等	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち			
	施策目標等	21.地域産業が活発に展開されるまち			
めざす姿（主観的満足度）		市内での産業活動が活発に行われている			
概要		創業・起業を希望する個人等が市内で独立創業できる環境づくりを進める。			
計画期間 中の 実施予定 時期	R6年度				
	1. 創業・起業の支援 ○地域活性化支援センターのリニューアルオープン 2. 新産業の創出				
	R7年度				
	R8年度				
	R9年度				

施策シート【21_02】－ 具体的な取り組み

観光にぎわい部

施策名称	創業（起業）できる環境づくりの充実
------	-------------------

1. 創業・起業の支援

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
手厚いサポートのある関西一創業しやすい街枚方を目指して、地域活性化支援センターの利用環境の整備を図り、北大阪商工会議所等と連携しながら、創業を支援。	・地域活性化支援センターのリニューアルオープン ・事業承継セミナー開催	・地域活性化支援センターにおける創業支援のさらなる充実 ・事業承継セミナー開催	継続	継続	商工振興課

2. 新産業の創出

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
市や関係機関が伴走支援し、学びと実践の場を提供する若手起業家を対象としたプログラムを実施するなど、地域活性化支援センターにおいて新産業の創出を支援。	若手起業家支援事業「起業街道 枚方塾」を引き続き実施	継続	継続	継続	商工振興課

施策シート[21_02]ー 施策指標

観光にぎわい部

施策名称	創業（起業）できる環境づくりの充実
------	-------------------

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
地域活性化支援センターにおける経営相談の件数	地域活性化支援センターにおける経営相談の件数	360	365	370	375	人	商工振興課	1. 創業・起業の支援
市の創業支援を受けて創業した件数	地域活性化支援センターにおける創業支援を受けて実際に創業した件数	29	30	31	32	人	商工振興課	1. 創業・起業の支援
地域活性化支援センターの若手起業家支援を受けて新産業を創出しようとする事業者のうち、事業着手した割合	地域活性化支援センターの若手起業家支援を受けて新産業を創出しようとする事業者の総数（定員4名）／地域活性化支援センターの若手起業家支援を受けて新産業を創出しようとする事業者の総数（4名）	100	100	100	100	%	商工振興課	2. 新産業の創出

施策シート【22_01】

観光にぎわい部

施策名称		農業の担い手の育成、就農促進			
総合計画体系	基本目標等	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち			
	施策目標等	22.農を守り、生かすまち			
めざす姿（主観的満足度）		農地が保全されるなど、「農」を守り、生かされている			
概要		農業の担い手を育成し、就農を促進する。			
計画期間 中の 実施予定 時期	R6年度				
		1. 新規就農者の育成支援 2. 本市の特産物を活かした新たな商品開発 3. 農業の産業化の促進 4. 農畜産物の販売支援 5. 農業ふれあい体験の実施			
	R7年度				
		1. 新規就農者の育成支援 ○地域計画を踏まえて農地のマッチングを実施			
	R8年度				
	R9年度				
		2. 本市の特産物を活かした新たな商品開発 ○商品化			

施策シート【22_01】－ 具体的な取り組み

観光にぎわい部

施策名称	農業の担い手の育成、就農促進
------	----------------

1. 新規就農者の育成支援

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
研修機関と連携し、新規就農者の確保及び就農後の規模拡大に向けてソフト面で販路・農地のマッチングを支援。 将来発生が予想される遊休農地を効果的に活用するため、新規就農者を生かした地域計画を策定。	・就農相談窓口の設置・案内強化 ・研修機関と連携強化 ・SNS・パンフレットによる周知強化	地域計画を踏まえて農地のマッチングを実施	継続	継続	農業振興課

2. 本市の特産物を活かした新たな商品開発

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
・ひらかた万博ブランドとしての特産物を創出 ・6次産業化を活用した商品開発 ・摂南大学農学部と連携した取り組み強化	・ぶどう、カラマンシー、竹など特産物の研究 ・苗木購入	・試験栽培 ・商品化の検討	継続	商品化	農業振興課

3. 農業の産業化の促進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
農薬の使用回数や化学肥料の使用量など一定基準を満たすエコ農産物の推進に向けた普及啓発	エコ農産物や地産地消の推進に向けた普及啓発	継続	継続	継続	農業振興課

4. 農畜産物の販売支援

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
農業者団体が行う自家生産の農畜産物を市民へ直接対面販売する直販事業に助成	市内各所で「ふれあい朝市」を開催	継続	継続	継続	農業振興課

5. 農業ふれあい体験の実施

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
農家が収穫した農作物の収穫体験イベントを実施。 小学生を対象とした食農体験学習（農作物の植え付け、収穫、試食など）を実施	・農家が収穫した農作物の収穫体験イベントを実施 ・小学生を対象とした食農体験学習（農作物の植え付け、収穫、試食など）を実施	継続	継続	継続	農業振興課

施策シート[22_01]ー 施策指標

観光にぎわい部

施策名称	農業の担い手の育成、就農促進
------	----------------

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
新規就農者（研修修了生）の延べ耕作面積	新規就農者（研修修了生）が就農後に耕作する面積。	0	0.4	0.8	1.2	ha	農業振興課	1. 新規就農者の育成支援
認定農業者及び認定新規就農者（累計）	農業経営基盤強化促進法に基づき本市が認定した農業者数（意欲的な担い手である「認定農業者」と新規に農業を開始した「認定新規就農者」）	1	2	3	4	人	農業振興課	1. 新規就農者の育成支援
新たなエコ農産物認証申請人数（累計）	農業の使用回数や化学肥料の使用量など一定基準を満たすエコ農産物認証を新たに申請する人数	1	2	3	4	人	農業振興課	3. 農業の産業化の促進
市内各所での「ふれあい朝市」実施団体への支援団体数	枚方市駅周辺をはじめとした市内各所での「ふれあい朝市」を開催する団体へ支援を行う団体数	9	9	10	10	団体	農業振興課	4. 農畜産物の販売支援
農業ふれあい体験者数	地元農家が育てた野菜などを収穫する農業ふれあいツアーの体験者数	1,700	1,750	1,800	1,850	人	農業振興課	5. 農業ふれあい体験の実施
食農体験学習体験者数	地元農家の指導により植え付けから収穫までを連続的に体験する食農体験学習を体験した児童数	700	710	720	730	人	農業振興課	5. 農業ふれあい体験の実施